

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立敷島小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることを御理解ください。

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語科平均正答率は全国平均を上回り、算数科平均正答率は全国平均とほぼ同程度であり、一定の定着が見られます。
- ・国語科の平均正答率は A；話すこと・聞くこと B；書くこと C；読むこと全領域で全国平均を上回り、定着が見られます。B；書くことの領域の中で、文の中における主語と述語との関係、修飾語と被修飾語の関係を捉える等、言葉の特徴や使い方に関する事項に課題が見られます。
- ・算数の平均正答率は C；変化と関係 D；データ活用領域では全国平均を上回り、日々の取り組みの成果が現れています。A；数と計算の領域で、場面から数量の関係を捉えて立式、計算する B；図形の領域で、図形の構成の仕方を捉えて面積を求める事項に課題が見られます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

よい傾向がみとめられる項目

- ・「自分にはよいところがある。」「将来の夢や目標を持つ。」「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにする。」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する。」に対して肯定的に答えた児童の割合が高いです。
- ・「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決める。」「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、話し合い活動に積極的に取り組んでいる。」「話し合い活動を通じて、自分の考えを深める、広げる。」に対して肯定的に答えた児童の割合が全国平均を上回っています。

課題となる項目

- ・「朝食を毎日食べる。」「コンピュータや ICT 機器を積極的に使用する。」「新型コロナウイルスでの休校期間中、計画的に学習を続けることができた。」に対して肯定的な回答をした児童の割合が低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・「聞く・話す」等の学習規律を整え、児童が集中して授業に取り組める環境を整えます。
- ・朝学習の時間を活用して国語の問題に取り組み、基礎学力を養います。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向け「自分の考えや思いを伝え合う活動」を取り入れた授業を展開することで、「話す・聞く・考える」力を身に付けます。
- ・道徳の授業や学年・学校の行事等を通して自分のことや人との関わりについて考え、自己肯定感や相手を思いやるソーシャルスキルを育てます。
- ・情報化社会の中における情報活用能力の育成や「わかる授業」の実現に向けて、クロムブック等を上手に活用していきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習の手引き」等を活用して、児童が自ら学習に取り組めるよう声を掛けていただくとともに、一緒に考えたり学ぶ姿を見せたりするなど、大人が関わりを増やしてあげてください。
- ・クロムブックは甲斐市みんなのものです。便利な道具ですが、家庭へ持ち帰る際は、ゲーム・テレビ・スマートフォン等と同様にルールを守って使用させてください。
- ・地域や社会等で起こっている問題や出来事について、家庭で話題にして話し合ってください。
- ・家族としての役割をもたせ、家庭内の仕事、家庭学習の様子を認め褒めることで、自尊心を育てるための成功体験をたくさん得られるような場面を作ってください。